傳家四合原氏

特別
へ13
4274
28

91-2359

偐紫田舍源氏

上冊

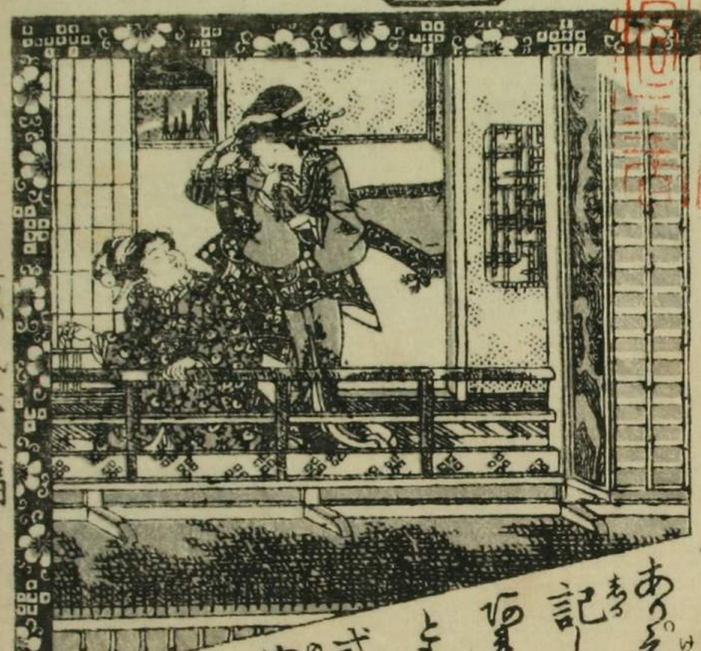
第九八編

種彦作

國貞画

鶴屋板

一



偐紫田舍源氏第九八編

或人曰昭和の文笑ちぐるふ時鳥

此句江州日吉の宮歌仙の額を拾と

うそ吹草古百人一句ふ光氏の室也

記し。其角ゞ兄弟ふ赤右馬つ妻と

ありぬるもの。貝原の捨を知りて赤右馬つ

とも光氏とも文の名ハいふ者ぞ。紫

式部ハ三歳兒も知りて是又文の

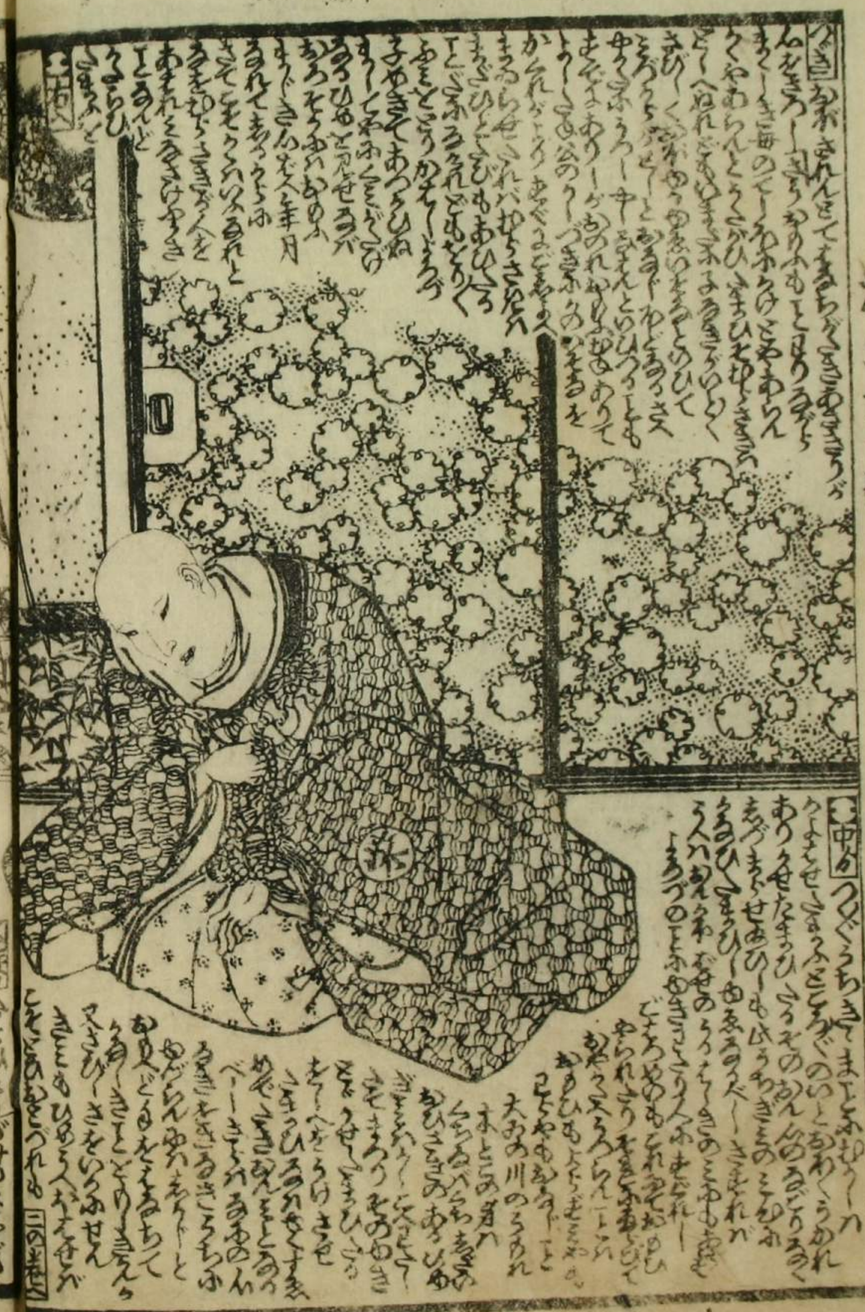
宣孝とゞ。書を讀ざる者ハ知らぬ

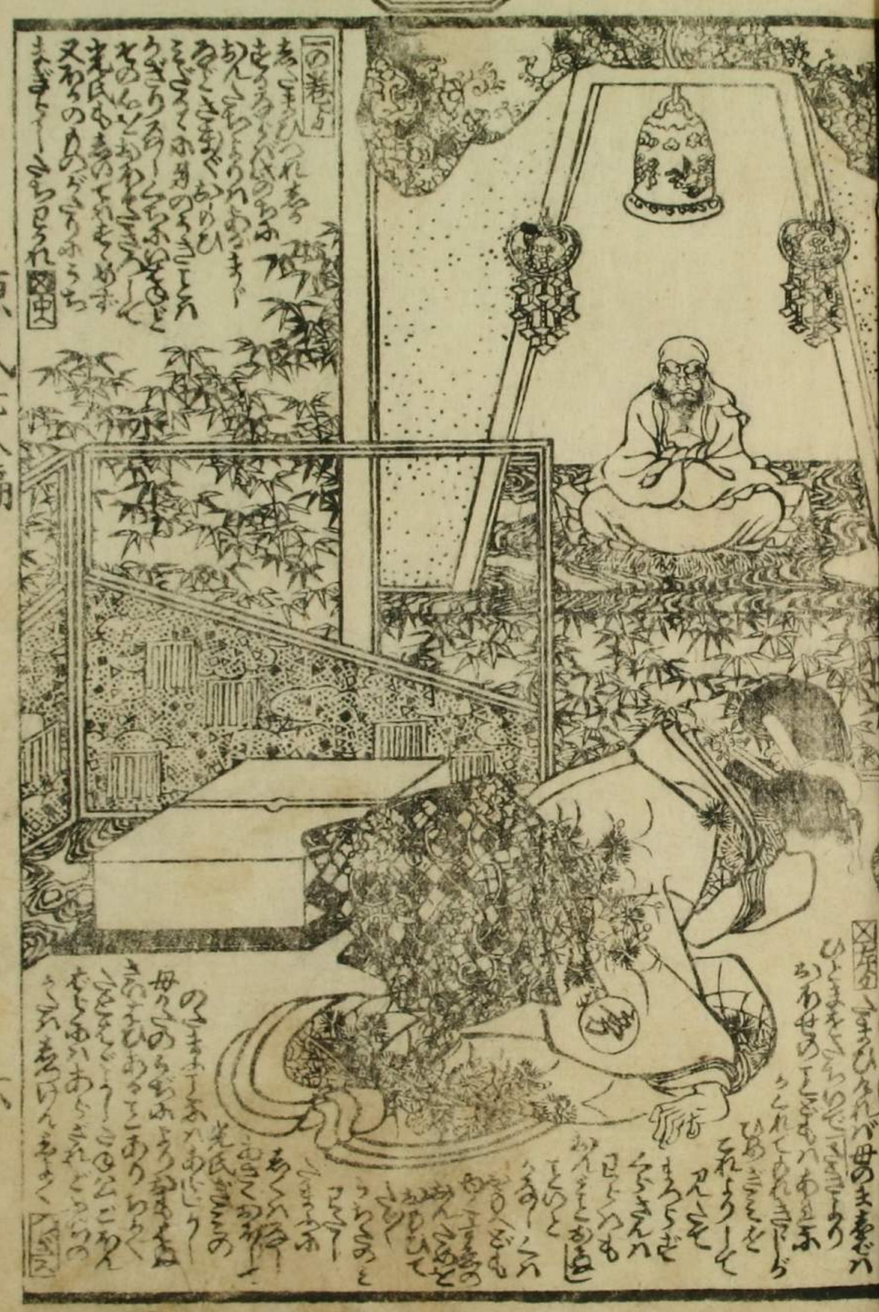
千人ふ持の鬼子母神ふの子男ハ

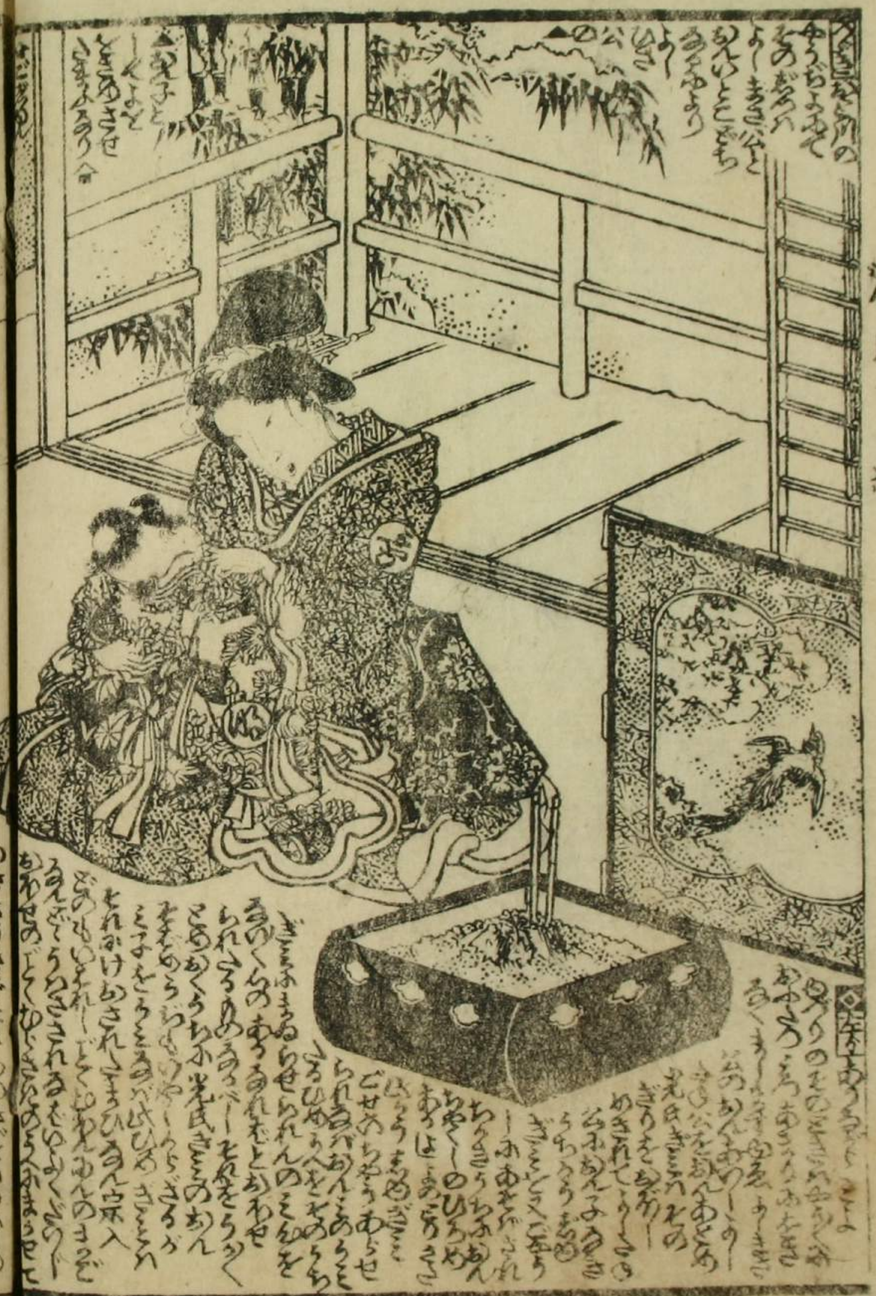
その文へ預どくべきとぞ。不

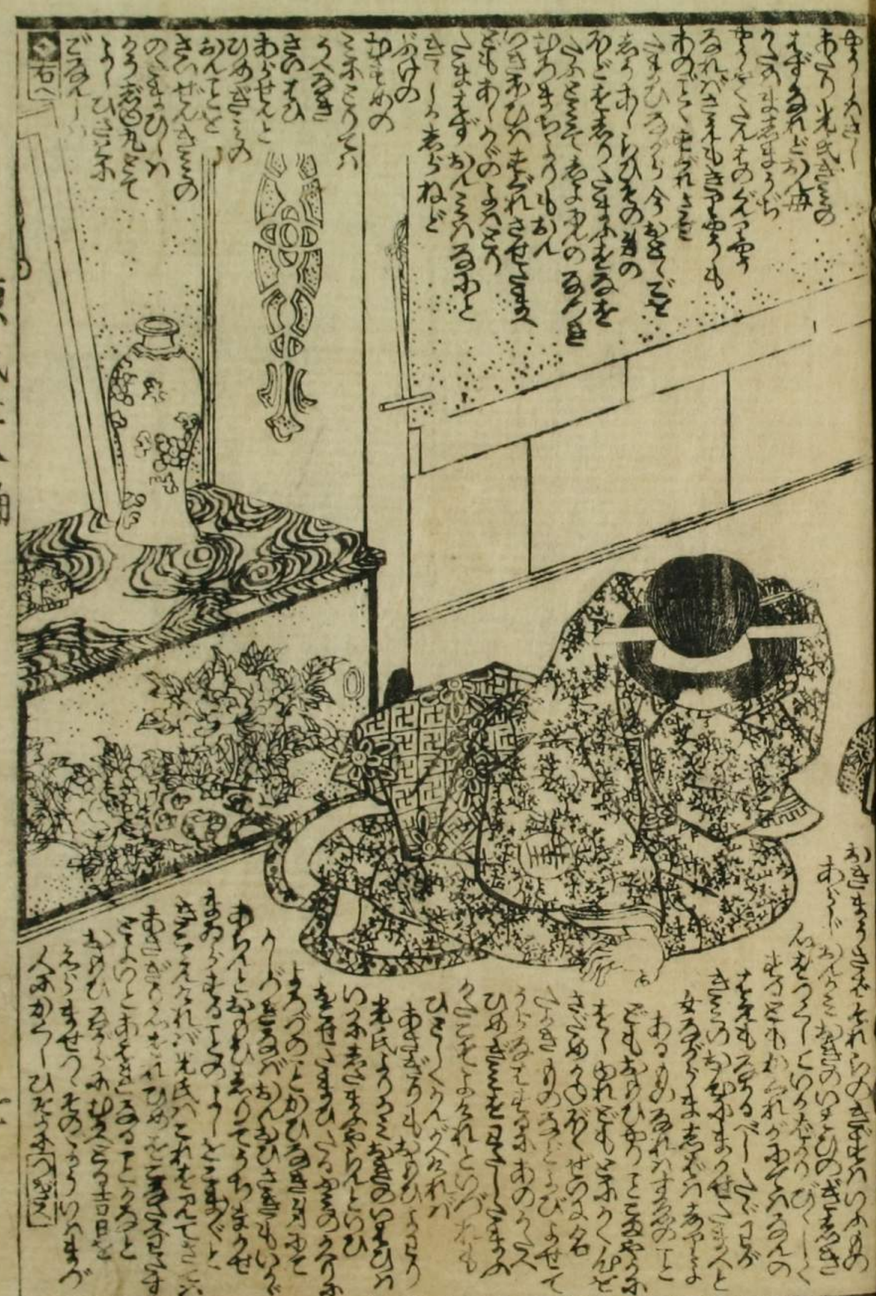
学の者ハ名ごゑも不知。室ハ愚

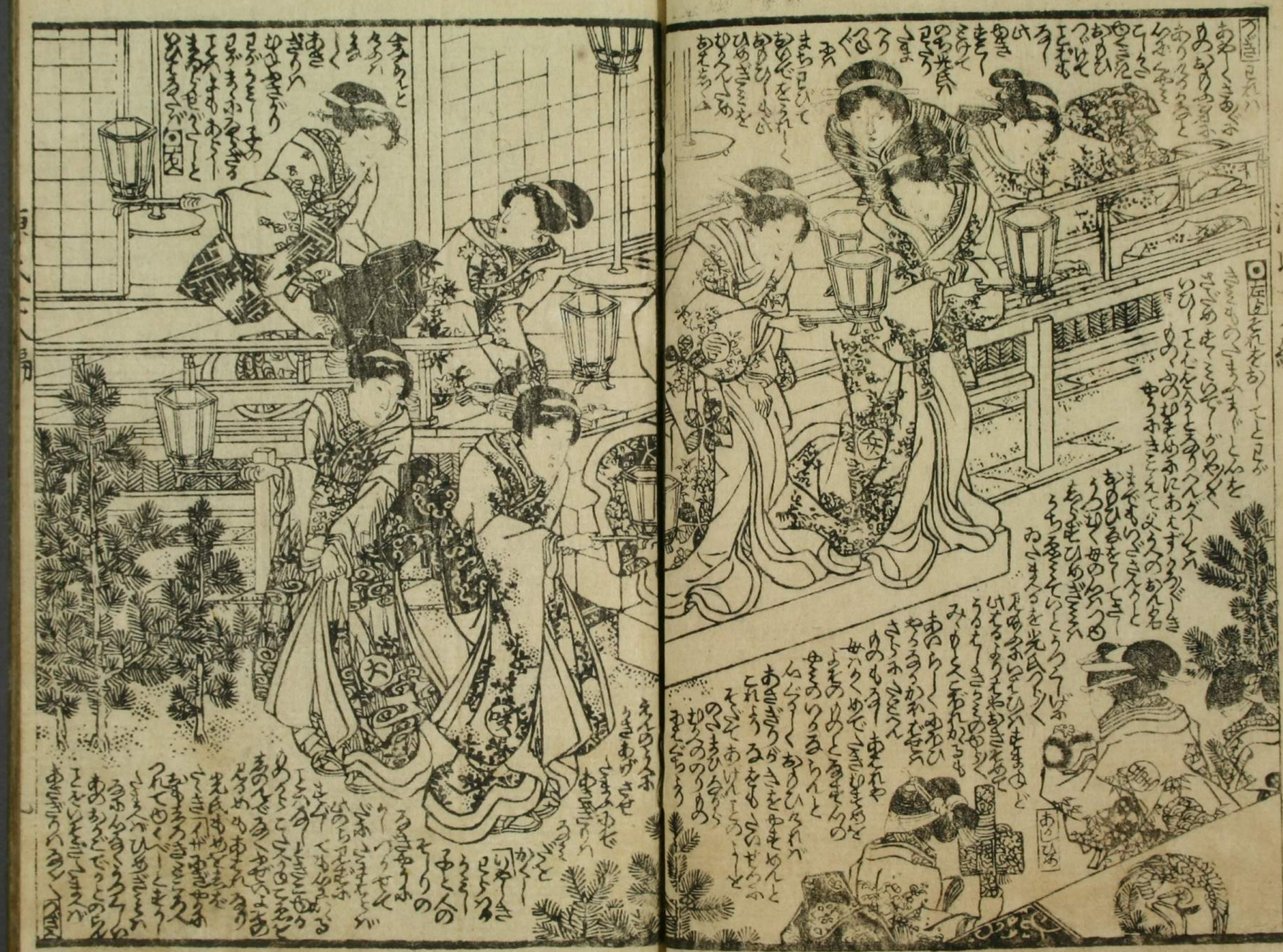
柳亭の巻の初
天保戊戌春
目十八帖至拾九帖
柳亭種彦











國貞画 種彦作

東都禾木園宗匠校輯

俳諧芳叫集 全三冊 板 開

俳諧叢苑集 全二冊 追刻

東都禾木園宗匠校輯

俳諧今人附合集 全四冊

秋岡板

俳諧今四歌仙 全冊 梅室禾木相雨小園四大人の俳諧三百余の俳諧者時の流行をあらく毛ふ出を孫之

俳諧七人歌句集 来亥年早春出板

田舎源氏文箱 おかよひ 上 仕立 たくさう入

小繪さうし 種彦聞書 貞秀画圖

浮手遊戯入

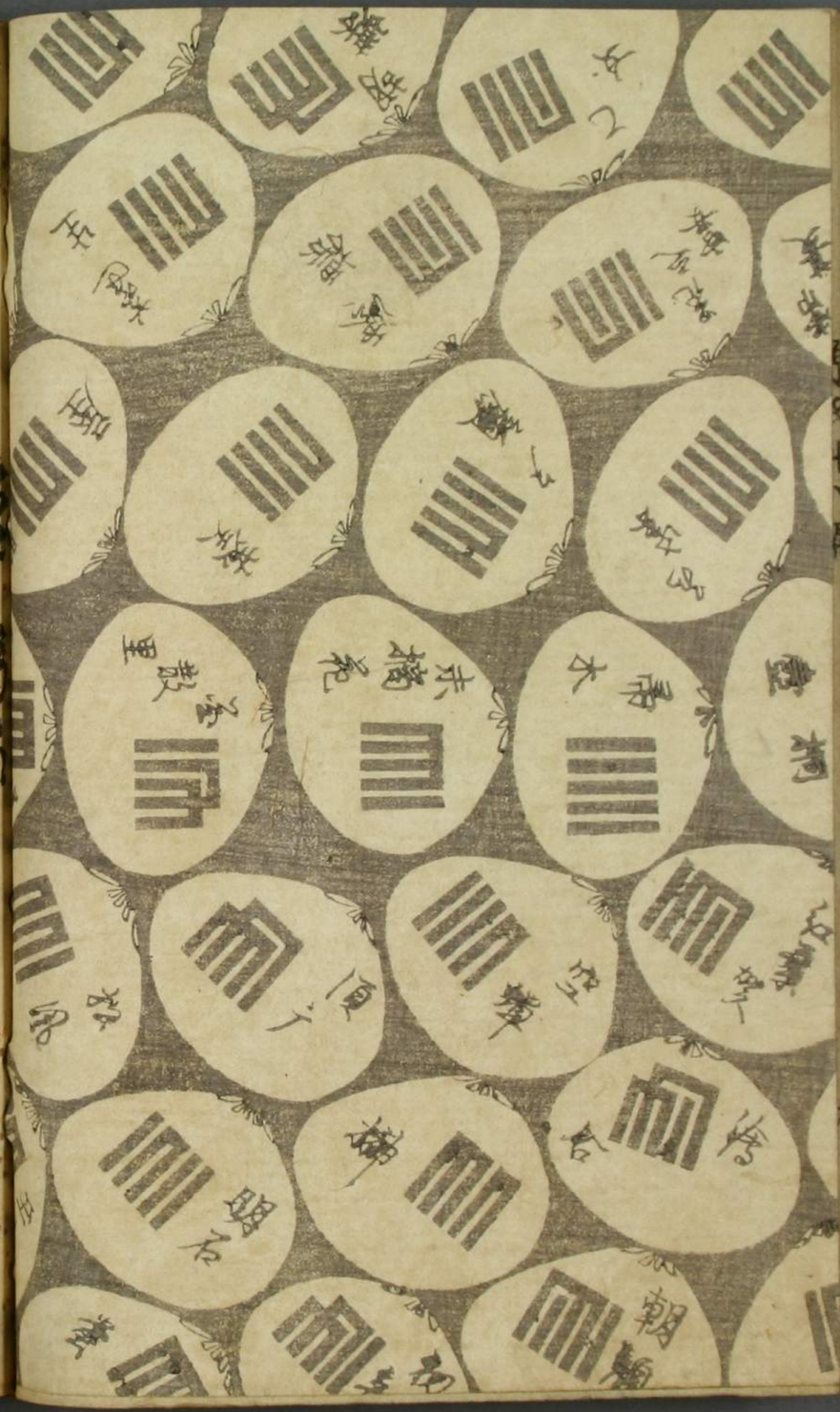
少焚だ〜ア 全三冊 昔噺 さちちゃんく 全三冊

茶番のいろは 全三冊 昔噺 浦島爺 全三冊

江戸御暦開板所

鶴屋喜右衛門

光八編下



源氏物語

下冊

第八

光

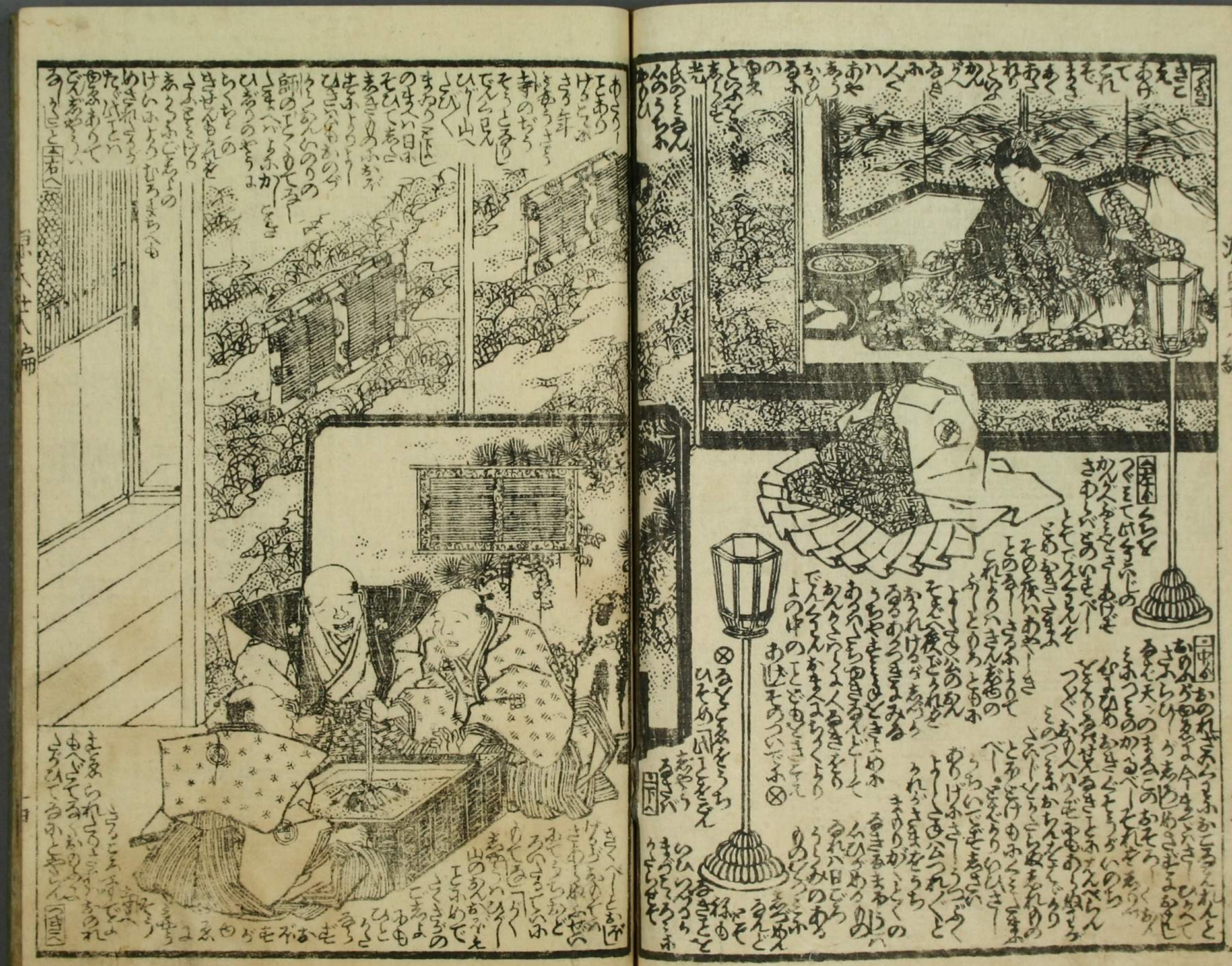
種彦作

國貞画

鶴屋梓

○左小 ○さいあり　○宗入かの　○光氏きこの

○右小 ○光氏きこの



天保十年己亥初春新彫

偐紫田舎源氏

柳亭種彦作
歌川國貞画

当年廿八編三十三編を開板おそくなる段は奥様へ花柳寿山

楠一代記 五冊 烏有山人作 歌川國芳画

百人一首稚講釋 山東京山作 八冊 歌川國虎画

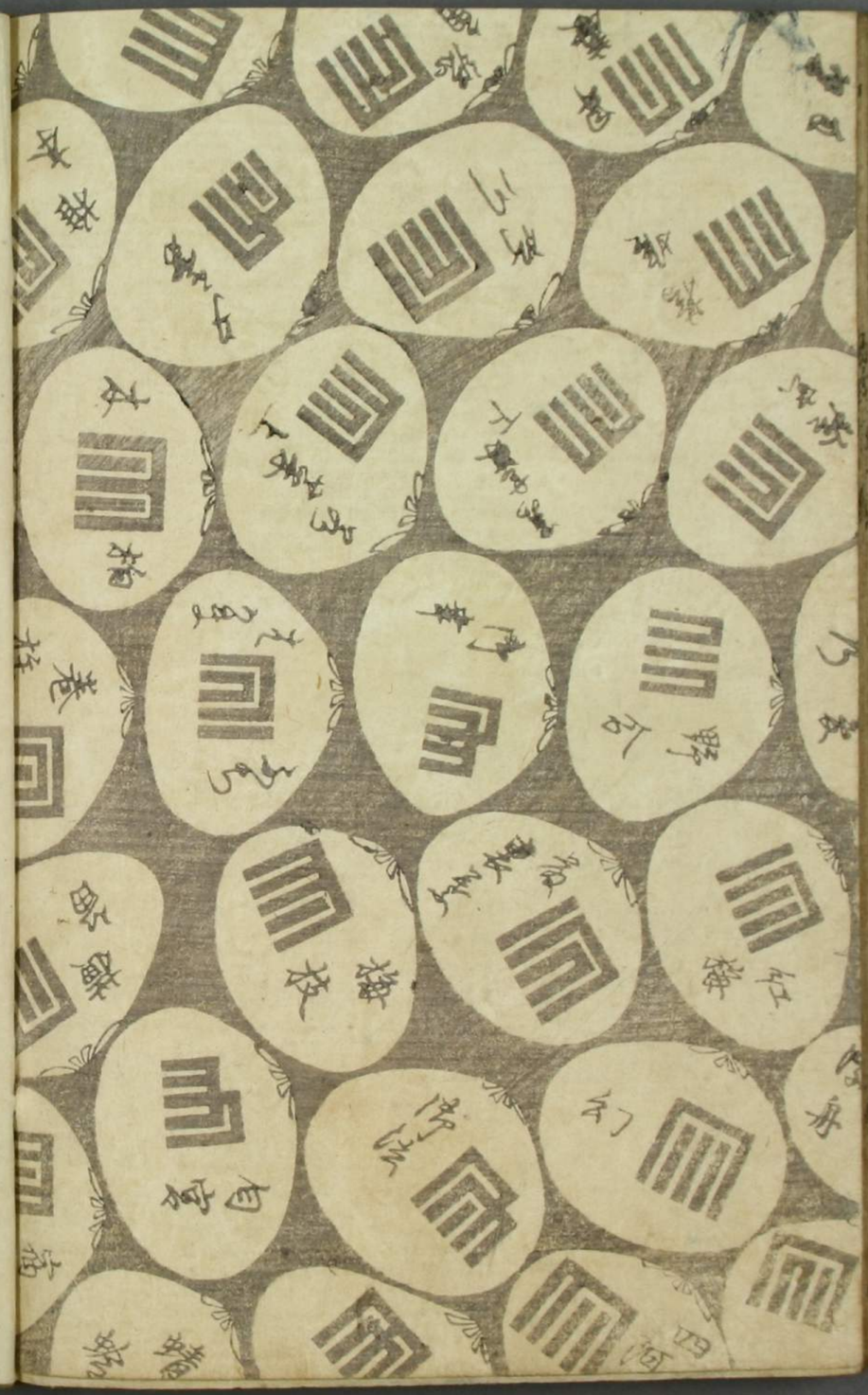
清盛一代記 五冊 烏有山人作 歌川國芳画

佐野渡怨敵懸橋 全六冊 緑亭仙橋作 五雲亭貞秀画

櫻風呂花半開 全四冊 白雲洞主人作 五雲亭貞秀画

藻塩艸須磨書替 全四冊 松下樓麓谷作 五雲亭貞秀画

無筆節用似字盡 視藥霞引札 各再板 曲亭馬琴作 歌川國芳画

美艶仙女香 四十八銅
黒油美玄香 三百匁
南傳馬町西側 坂本氏製

書物錦繪 團扇地紙 問屋 江戸通油町 鶴屋喜右衛門